



生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。

(ルカ 1 章 35 章)

キリストの目を

キラワレタ人と

ミッシオン・バレー・フリー・

メソジスト教会日語部牧師

朴エド師



朴夫人、息子さん達と共に
朴師は左から 2 人目

私には息子が二人います。長男が六月生まれであり、次男は十二月生まれです。残念ながら、長男は夏休みが始まった後、次男は冬休みが始まった後に誕生日が来るので、これまで友達を招いてパーティーをやることをやめたことがありません。特に次男の場合、クリスマスと誕生日が近いので、誕生日プレゼントとクリスマスプレゼントが一緒になることが多かったのも不満でした。

去年、次男から特別要請があり、小学校を卒業するので、最後に友達を招いて盛大なパーティーをやることをやめたいということでした。「最初で最後の願いだ」と叫ぶ息子の強い希望を見捨てることは出来ず、小学校での最後のパーティーをやることになりました。私は次男の指示に従い招待状の作成にとりかかりました。「何枚くらい作ればいい？」と

尋ねる私に、「二十枚作って欲しい」との答えが返ってきました。「え？二十枚？誰を呼ぶの？」との私の質問に、「これまで自分をパーティーや他の友達も招待したい」と次男が答えました。「他の友達で誰なんだろう」。私はちよつと気になりました。そんな思いの中、私は招待状を四十枚作りました。次男は四十枚の招待状を見てびっくりしました。「お父さん、なんでこんなに多いの？」私は答えました。「イエス様が生まれた時に神様は人々から嫌われた人々を招待したんだ。私たちはクリスチャンだから、自分が好きな人だけをパーティーに招いてはいけません。クラスの中で友達がいない子、あなたと親しくない子も誘って。それがクリスチャンなんだ。」

イエス・キリストの誕生日を最初に祝ったのは不思議なことに信仰が強い人、人気のある人ではなくて、この世から嫌われた人々でした。それが、羊飼いであり、三人の博士たちです。

先ず、神様は羊飼いを招待してくださいました。当時、羊飼いは人々から嫌われた職業でした。なぜなら、羊飼いは一年三六五日、羊と共に過ごし、寝る時さえ羊と一緒に寝るため体から発する匂いが臭かったからです。また、彼らは罪人と呼ばれました。安息日も休むことなく、神様に礼拝を捧げることでもできなかったからです。だからイスラエルの人々から不敬な人々と差別されていきました。

次に、神様は三人の博士たちを招待して下さいました。この三人の博士たちは、よその国の祭司、あるいは王様の助けをする魔術師か預言者たちだと考えられていました。彼らが星を見てイエス・キリストの所に訪ねて来たので、多分、星を見ながら未来を語り預言していたのだと思います。彼らは、イスラエルの人々の目から見ると、救いのない異邦人です。しかも、神様から禁じられていた古い専門家だったので。

救い主イエス・キリストがこの世に生まれる大切な日に、キリストの父である神様は人々から嫌われた羊飼いと異邦人を招待下さいました。これは、イエス様の働きが失われた人、嫌われた人、罪人、神様を知らない人のためであることを示しています。

私たちクリスチャンはキリストに従う者です。キリストが愛する人を愛する者です。私たちは自分が好きな人、私たちが愛してくださいる人だけを愛する者ではありません。イエス・キリストが愛する人を同じく愛する者です。キリストの日である今年のクリスマスにはあなたが好きな人だけではなく、あなたが嫌いな人、もしくはあなたが嫌う人とイエス・キリストの愛を分かちあつてはいかがでしょうか。

【クリスマス随想】

クリスマス・ミュージカル

内越泰子



亡き言平師と共に
玄関に飾られた合成写真



チルドレン・レスキュー・ミッシ
ョンが発足しました。それ以来、
個人的に依頼されたり、家庭裁判
所からの少年委託、児童相談所か
らは里子として、三十数名の子ど
もたちを家族の一員として受け入
れ、生活を共にしてきました。

子どもたちを取り巻く環境や問
題はますます険悪になっていく状
況の中で、「悲しいこと、辛いこと、
暗い日々があつたとしても、一度
でも、大きな舞台でライトがあた
る体験をするなら、これからの彼
らの人生にも光が差し込むに違
いない。子どもたち、ひとりひと
りに光をあててあげたい」という思
いから、このミュージカルが毎年
続けられてきたのです。

小学三年生で我が家に来たK君。
自らライトが当たらないように生
きて来た。誰の目にもつかないよ
うに、誰とも話さなくても良いよ
うに、ひっそりと生きて来た。母
親は、父親無しで彼を産み落とし
て、いなくなつた。彼は親戚の家
をたらい回しにされた。小学三年
生で我が家に来るまで、三十回以
上家出したという記録がある。

一月の雪の降る夜、地下鉄のシ
ヤッターの前で震えていたのを、
お巡りさんが見つけ、交番に保護
された。親戚に連絡するも、誰も
引き取りに来ず、児童相談所へ。
そして、施設よりも家庭で養育を、

ということでも我が家に来た。着の
身着のまま、スーパールの白い袋を
提げていた。中にはおもちゃの車
一個だけ。「誰が一番好き？」と聞
くと「児童相談所のおじさん」と
答えた。「誕生日に車プレゼントし
てくれた！」と。

教会では毎日、中高生が小学生
と一緒に遊ぶMEBIGプログラム
がある。彼もそこで遊ぶように
なつた。ある日、終わっても帰つ
て来ないので見に行つた。隅に座
つて、むくれていた。何か嫌なこ
とがあつたらしい。「家に帰ろう」
と声をかけても立ち上がらない。
しゃがんでおんぶした。足を突っ
張つて嫌がつた。そのうちに背中
にびったりくっついて、泣き出し
た。エンエン、エンエン・赤子
のように。家まで、ゆっくり歩き
ながら、子守唄を歌つた。

神様ただ一人 いつもぼくを愛
している イエス様ただ一人
いつもぼくを愛していろ
ぼくを愛してる ぼくを見つめ
てる ぼくを守ってる
ぼくを愛してる ぼくを見つめ
てる ぼくを守ってる
ぼくを愛してる ぼくを見つめ
てる ぼくを守ってる
(MEBIG賛美)

創始者内越言平は、二〇一二年
四月、大腸癌のため、天に召され
ました。彼の遺志を継ぐ若者たち
が、今年も「こどもミュージカル」
にチャレンジしています。舞台監

督、演技指導、ダンス、歌、作曲、
音響、小道具、衣装、全てが手作
り、これらを受け持つ若者たちも、
かつては皆この子どもミュージカ
ルに出演して育つた者たちです。
小学生の時から不登校を繰り返
してきたS君。昨年、高三の彼に
とつて最後のミュージカルの幕が
降りた時、語ってくれました。「自
分にはあまり人には知られたくな
い暗い過去があつて、イエス様は
それを忘れてもいいんだと言つ
て、全部背負ってくれている。今
回のミュージカルではそんな神の
愛がわかつて感謝です」。S君は
小学一年生から一度も休まず出演
してきました。ミュージカルの中
で語る台詞も演技もダンスも、彼
そのものの価値と可能性が溢れる
ものでした。彼は、今年から裏方
でダンスや演技を指導しています。

出演するのは六歳から高校二年
生までの子どもたちです。ほとん
どが崩壊家庭で、離婚騒動の真最
中、母親が覚せい剤で刑務所に入
所中、生まれる前からその存在を
否定され続けてきた子、スマホゲ
ームにはまっている子、家庭内暴
力を受けながら、必死に自分を守
つてきた子等々。彼らは大人の争
いと裏切りの中で、深く傷ついて
きました。家庭の中にはすでに自
分の居場所が無いと知りつつも、
(五ページ下段に続く)

イエス様の愛と繋がって

佐々木聡子



私がイエス様と聖書に出会ったのは、バプテスト・ミッド・ミッド・シヨーンズの吉田デビッド・メロデー宣教師夫妻の教会に通い始めた時でした。中学生でした。高校一年の秋にイエス様を受け入れて洗礼を受けました。高校二年の夏には親元を離れ渡米、ミシガンでバプテスト高校に通い卒業。同じミシガンで一般の総合大学に四年



通い
二〇
〇三
年に
卒業
しま

した。その後仕事に就き、イリノイ州やインディアナ州に移住、今の夫に出会い結婚。第一子出産後仕事を復帰しましたが、その後仕事を辞めました。第二子出産後、二〇一五年夏に今の北ケンタッキーに引っ越し、二〇一六年にNKY杉田先生のバイブルスタデイの世話役を私がすることになりました。杉田先生のバイブルスタデイはわかりやすく楽しく聖書でイエス様の愛を学べます。励まされ、日常生活で困った時ほど思い出すのは杉田先生と読んだ聖書の話ばかりです。自分を愛せない人は他人を

愛せませんよ。皆さんは神様が創造された最高傑作作品です。自分を好きになつてください。と言う杉田先生の言葉は衝撃でした。「自分を愛したら自己中心な人間になりますよ?」と私は聞き返したくありません。鏡を拭く時に自分に嬉しくなる言葉をかける事、悲しい時は自分で自分の頭を撫でて、「よく頑張っているよ」と慰めの言葉をかけること、などを半信半疑でやってみました。

その時の私は自分の事が好きとは言えず、褒められても、「私には価値はなく、お世辞にすぎない」と決めつけ、何かを達成しても「良かったね」の喜びは大袈裟だと無視していました。次から次へと自分を次の目標に追い立てて、生きる喜びや善きものを受けけることを避けて、ただ走り続ける事を無自覚でやっていました。他人の行動の間違いを批判し、過ちを犯さない自分は正しいので、イエス様に好かれていくだろうと他人の評価を確認していました。真面目で厳しいクリスチャンになっていくほど、私の言動は酷くなるようになっていきました。笑顔の人は、ヘラヘラ怠けているように見え、良い物さえも良い物に見えなくなり、教会の成功したイベントにさえ長文の反省点を教員にEメールしていたほどの源探しをし続けるのだろうか

と、悲しみを感じ始めていました。杉田先生のバイブルスタデイの学び、家では鏡の前での嬉しい声かけを実行して、一年半がたちました。イライラが減りだして、笑顔や元気が戻ってきました。この平安と活力を産み出す言葉たちはどこから来るのだろうか。イエス様の愛からではないか。ハッと気づかされました。自分の心が直接イエス様と繋がっている!子どもたちに通して自分に返ってくるようになり、愛の言葉で家が包まれるようになってきました。イエス様の愛が聞こえ、自分の正しさを主張する必要がなくなりました。自己中心な自分が消えていき、聖霊が働ける環境で愛の実践がしたいと思うようになっていきました。間違いを指摘しなくても悪を肯定することにはならないと分かり、愛に生きる事に徹したイエス様を感じられるようになりました。人生がイエス様からの愛の休憩場所いっぱいになる散歩道になりました。もちろん嫌な事は以前と変わらずに起ります。嫌な事をする人の小さな光(イエス様と繋がるところ)を探すようになりました。イエス様が既に備えてくださった愛が見つけられるなら、成功しても失敗しても良い経験が積まれる感謝へと変わりました。人を責めないイ

エス様の愛を信頼し、以前の苦しい思いが心と口からポロポロと出て、悔い改め、赦され、きよめられ、愛と安心を得ました。この地でも天国でも私は愛と光を求め喜びに溢れ踊るでしょう。

現在、NKY杉田先生バイブルスタデイは、毎月第一・三木曜よりアーランジャーバプテスト教会にて毎回五、十人が集まり開催しています。今年よりこのバイブルスタデイを継続させている全てが主から頂いている恵みとチャレンジになりました。チャイルドケアを含め全てイエス様が既に備えてくださり、クリスチャンもノンクリスチャンも支え合い、感謝と愛に溢れる集まりになりました。

イエス様の愛をもっと聞きたくて寄付を集めてくださったNKY杉田バイブルスタデイ参加者と友人の方々、ラブオフアリングをしてくださった兄弟姉妹、どうも有難うございました。イエス様の愛を強く感じて今日も感謝に溢れました。去年、ある物を手放しましたが、イエス様が用意されていた物は素晴らしく永遠の物だったと実感しています。「神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。」(一ヨハネ四:一六)。

ルイビル日本語教会及び Greater Cincinnati/Northern Kentucky
日本語礼拝

宣教の旅に出よう

カイル・コシミス



今夏、JEMSのAACF (Asian American Christian Fellowship) American Christian Fellowship) 各大学キャンパス・ミニストリーを通して、日本へ行く機会を得ました。三ヶ月ほど前に、アメリカに帰国しましたが、今でもこの宣教旅行で受けた衝撃が続いています。日系三世として、生まれましたが、日本文化に関わることなく育ちました。日本語の少しの知識と年上の人に敬意を示し、礼儀正しく周りの人々に接することなどは心掛けていたのですが、日本文化や日本人を真に理解するには至りませんでした。むしろ、日本文化とキリスト教の相いれない部分に目を向けていました。

日本に行くとき多くの人が経験することは、親切で丁寧な接客サービスや公共交通機関の利便さです。しかし宣教の地としてみる時、日本人や日本文化をどのように解釈していくかの視点が変わってきます。たとえば電車に乗っている時、周りの人々を観察してみました。ある人は本や漫画を読み、ある人は仮眠し、ある人は音楽を聴き、ある人はポーツをしています。そこには沈黙があるのみです。人間同士の触れ合いがないのです。コンビニでは、人々は笑顔で丁寧な対応をしてくれます。しかし一

つ一つの言葉がマニュアル通りで生きた会話に発展する余地はありません。感情や思考は沈黙の壁に隠されてしまい、楽しさや喜びが表されることがありません。多くの日本人が孤独の中に自身を置いているように見えます。皆が自分の世界に閉じこもり、自分の考えを伝えることがないのです。人口が多く先進国の一つである日本において、人間的な繋がりが欠落しているのです。またほとんどの人々が希望と喜びを与えてくださ



共にメンバーと
カイルが2番目から左

るキリストを知らないのです。今夏、愛知県豊橋市で奉仕する機会がありました。豊橋市には、より良い職場や給料を求めて、日本に移住してきたブラジル系日本人(または日系ブラジル人)の大きなコミュニティがあります。不幸なことに、彼らは日本人の一人に「よそ者」と見られています。日本人のような顔をし、日本語を話したとしても無視され、異人種と見られてしまいます。また大人達は、月曜日から金曜日まで少な

くても毎日十時間は働いています。子供たちはいじめの対象となり、頼るべき親達は仕事で家にいない。空っぽの家に帰り、空っぽの皿にお腹を満たすこともできず、子供たちの心までが空っぽになっていきます。黒木先生はこれらの困難に直面している子どもたちや家族に宣教の手を差し伸べる教会を立てた先駆者です。彼は市の教育委員会から派遣されて地域の公立小学校を回っています。私たちのチームは、先生の手助けをしました。先生の肩にかかる重荷を少しでも軽くできるならば、先生が多忙な日常から解放され休むことができるとです。黒木先生は、見捨てられた家族に希望と喜びを伝えるために忠実に働かれています。ミッションに応募し、準備している時、私は特に何の期待もしていませんでした。啓示のようなものを受け、誰かが救われるような期待感を持つことなどを望んでいませんでした。ただ人々に仕え、もっと神様を知りたいと思ったのです。しかし結果的に、神様は私に現れ、私の心の中にあるものを成長させてくださったのです。

悪態をつき、邪魔して他の子どもたちと喧嘩をしていました。その日のプログラムが終わり、他の子ども達は帰り、一人残されました。迎える待っている間、彼は関心を引こうと処罰の対象になるような問題行動を続けていましたが、私たちは処罰しないことを決めていました。主が私に何かするように語りかけているように感じました。私はガブリエルにアイスクリームを買い、一緒にゲームをしようと思いましたが、私の誘いを彼は無視しましたが、黙って一緒に座りました。彼は居心地が悪そうで、バックパックスの中にも頭を突っ込んで、距離を置こうとしていました。この瞬間、宣教は時間がかかるが、そこに共にいることが大切であると主の示しを聞きました。主はこの宣教を推し進め、もっと時間を費やし、彼と一緒にいるなら、その実が成長していくのを見させてくださると、教えて下さいました。

夏季宣教旅行終了後、AACFの働きに誘われました。主が扉を開けて下さったチャンスでした。主は将来どこに私を遣わそうとされるのだろうか。宣教師かカウンセラーか、わかりません。しかし今、私は私が彼の計画の中に入れていることを確信しています。皆さん、宣教の旅に出てください。主があなたの命に働き、主ご自身に出会うためにです。

[JEMS 宣教にご協力ください！]

JEMSの働きは近年急速に広がっています。現在38人の宣教師を日本に送り、アメリカ国内の20の大学でAACF(Asian American Christian Fellowship)がキャンパスミニストリーをしています。JEMSオフィスにも新たに4人のスタッフが加わりました。現在、JEMSでは2019年12月31日に期限が切れる\$55,000の助成金(GRANT)が有効となるために500人の新たな賛助者を募っています。来る2020年が更なる飛躍の年となるように、この資金が宣教の大きな役割を担うことを信じ、新年に向けて、皆さまのご協力をお願いします。金額はお一人お一人が聖霊の導きを祈ってお決めください(毎月\$25~\$50が一つの目安です)。献金は毎月、一年間続けてくださることをお願いいたします。1回で1年分を献金して頂くこともできます。JEMSを通して主がなされる働きにご協力くださることを感謝いたします。

下記のサイトをご覧ください。また、このプロジェクトのために祈り下さい。

<https://jems.networkforgood.com/>

Year-end 2020 Launch! をお選び下さい。

「ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいませ。」 IIコリント9:7

第71回 JEMS マウント・ハーモン修養会 2020年6月28日(日)―7月4日(土)

日語部講師:長沢崇文牧師

小学6年生の時に姉の影響で賛美歌を作り始める。2007年関西聖書学院卒業。「Growing Up」等様々なユースミニストリーを立て上げ、ワーシップリーダーとして多方面で活動。



現在までに多くのCD制作に携わり、作曲した賛美歌は日本だけでなく多くの国々で歌われている。全国47道府県を全て巡回し、若者たちのネットワークを繋げる働きと共に、メッセンジャーとして教会のほか、ライブハウスや喫茶店や駅、路上、学校、病院などあらゆる所でイベントや集会を開き福音を伝えている。北海道出身。カナン・プレイズ・チャーチ牧師。カナン祈りの家「CHOP」ディレクター。キリストのご性質を賛美していきたいという願いから始まったライブCDシリーズ「道」「真理」に続き、完結のCD「いのち」を2019年7月にリリース。

家族は妻と子供4人

[2020年1月中旬より申込み受付開始]

詳細は JEMS オフィス 藤本まで minakoF@jems.org

【近況報告】
JEMS日語部コーディネーター 藤本三奈子
二〇一九年も多くの方々のお祈りとサポートによって、日語部の働きを支えて頂いたことを心から感謝申し上げます。
十一月にパスポートを更新しました。この日本パスポート保持者がビザなしで渡航できる国は、現地在先も含まれ、一九〇カ国に及び、世界で旅行自由度第一位という事です。しかし、キリストにある自由度は世界で最も低い国の一つです。新しいパスポートに受け取りのサインをする際に、あなたから与えられたこのパスポートが用いられ、宣教の地へ遣わして下さいと祈りました。来る新年が、皆さまにとって主の祝福の一年となりませうとお祈り致します。



【時報ボランティア】
JEMSオフィスで時報の発送作業をしていましたが、今年からガーデナ・バレー・バプテスト教会の一室をお借りして、約一二五〇部の発送をしています。
美味しいランチを作ってきて下さる方もいて和気あいあいの中で、皆さんが喜んで奉仕をしてくださり、感謝しています。



(二ページから続く)
なお親の愛を求め続けて、もがいているのです。彼らはミュージカルの練習を通して、自分の人生の書き換えを始めています。良い子のふりをしている僕を、しっかり受け止めてくれるスタッフ達を信頼して、厳しい指導についていくのです。そうして演技ではない本物の涙と笑顔を輝かせ、歌声を響かせてくれるのです。幕が降りた時、大きな拍手が、上手にできたゆえではなく、僕への、私への応援であることに気がついて、皆抱き合せて泣くのです。
一人一人が神の目にどれ程尊い価値ある存在なのかを、このミュージカルを作り上げていく中で、自ら見いだすことができるなら、幸いですと祈っています。
(愛燐チャペル前主任牧師夫人)
【編集後記】
毎年、私のクリスマス準備は、時報のクリスマス号の脱稿と共に始まります。今年も、十二月二日。まだいっぱい時間がありそうに嬉し。まずツリーを買いに行き、クラシックなクリスマスソングの讃美歌を聞きながら、飾りつけするのが好き。羊飼いたちが野宿しながら輝く星を見つけたように、今年イエス様が見つけた愛の奇跡を見つけていこう。今年もありがとうございました。
西原黎子

JEMS ADMINISTRATION
 Rev. Dr. Richard Chuman -
 Executive Director & Minister at Large
 Daichi Tsuruta-Senior Accountant
 Barrett Louie-Accounting Assistant
 Darryl Wong-Missions Administrator
 Mary Tabuchi-Office Administrator

JEMS BOARD OF DIRECTORS
 David Akiyama-President
 Joel Nagatoshi-Vice President
 Larry Kurumiya-Treasurer
 Don Yamagishi-Secretary
 Ann Kurumiya-Recording Secretary
 Members at Large: Kevin Hayashida,
 Keith Kobayashi, Greg Oda, Mark Okada,
 Lawrence Tonomura, Ada Yeh

JAPAN MISSIONS
 Roy Toma Director
 Amakusa Shinsetsu Ministry

JAPAN MISSIONARIES
 Tim & Chie Burns-Nagoya
 Anne & Riz Crescini-Kitakyushu
 Ethan & Michele Fisher-Gifu
 Todd & Jayne Fong-Tokyo, CAJ
 Gayle Gutierrez-Machida
 Paul & Yu Kang-Nagoya
 Revs. Michael & Chris Mason-Osaka
 David & Yuka Mills-Kanagawa, J-Lodge
 Paul & Rie Mizuki
 Mitsuyoshi & Kristin Nakamura-Nagoya
 Julie Nitao -Rifu,Miyagi
 Kuni & Kristen Onishi-Kobe
 David & Tomo Robison-Tohoku
 Jon & Maki Robison-Tohoku
 Lily Suzuki-Amakusa
 John & Kazumi VanFarowe-Tajimi
 Nozomi & Kevin West-Kobe
 Fred & Chikako Whitver-Tohoku
 Joseph & Yumiko Wu-Kobe
 Reo Yoshida-Kobe
SOUTH AMERICA MISSIONS
 Rev. John Katagi-Director

JAPAN AFFILIATES
 Rev. Paul Ariga-All Japan Revival Mission
 Mark & Jennifer Ballo-Suicide Is a Lie, There Is Hope-Tokyo
 Rev. Megumi Enomoto-SHga
 Nozomi Houlette-Nozomi Project
 Nao & Barbara Hanada-Director of AIGJ
 Rev. Timothy Hirnel-Soden, JEMS Japan Coord.
 Moto Kimura & Jo Nakamura-OneMusic
 Rev. Yoshitiro Kishi-Mission 2001, Music
 Hideo Kobori-Kyoto, Music
 Rev. Masashi Sugita-Dublin, Ohio
 Temoto Suzuki-Tohoku
 Rev. Chandler Im-Tokyo Waseda Int. Christian School

DIASPORA MINISTRY
 Eri Kobayashi (SoCal)
 Rev. Dennis Peters (NorCal)
 Akiko Sugimori (SoCal)

US AFFILIATES
 Ray Sidney, Amy Lachica, -Here to Praise Ministries
 Dr. Martin Yahiro-JUMP-Japan Upward Mission Project
 Ms. Nana Yamamoto-USA Evangelism
 Dr. Patrick Zukeran- Christian Apologetics

AACF CAMPUS MINISTRIES OF JEMS
 Jon Liu-AACF Director
 Chloe Chow-Media Coordinator
AACF CAMPUS MINISTERS
 Chong Ahn, Rev. Melanie Mar Chow,
 David Fong, Rev. Victor Quon

AACF CAMPUS MINISTERS (Volunteers)
 Betty Chen, Bruce Chow, Ashley Donald,
 Evelyn Fan Encarnacion, Nathan Fong, Helicon Kuan,
 Ed Kwong, Joyce Lam, Jasmine Lee, Adrian Li,
 Kylie Liu, Amie Ong, Mark Quan, Janet Reksatmodjo,
 Johannah Rosario

MOUNT HERMON FAMILY CAMP
 Craig Wakamoto-Director
 Lisa Nagahori-Registrar

MOUNT HERMON YOUTH CAMPS
 Jr. High Directors-Garron/Cynthia Tsushima
 Inter High Director-Joel Negatoshi
 Sr. High Director-Ken Shida
 College Director-Ryan Najima
 Special Camp Directors-Bruce/Valerie Satow

MOUNT HERMON YOUTH CAMPS
 Lisa Nagahori-Coordinator
MUSIC AND MEDIA
 Lowell E. Sue-Director

NICHIGO MINISTRIES
 Minako Fujimoto-US Coordinator
 Rev. Dr. Ryohei Kawano - Overseas
 Church Consultant
PACIFIC NORTHWEST
 (STATE OF WASHINGTON)
 Rev. Carolyn Y. Shimabukuro -
 PNW Director & AACF Regional
 Director

SENIORS & MEN 4 MISSIONS
 Rev. Dr. Sam Tonomura- Director

SPORTS AND RECREATION
 Victor/Linda Louie - Volleyball
 Ken/Mary Tabuchi - Softball
 John Lee- Basketball League

JEMS JOURNAL
 Emily Okada-Layout & Graphics
 Keyline Lithography -Printing

JAPANESE EVANGELICAL MISSIONARY SOCIETY
 948 East Second Street
 Los Angeles, CA 90012-4317
 213.613.0022
 E-Mail: info@jems.org www.jems.org

RETURN SERVICE REQUESTED

NON PROFIT
 Auto
US POSTAGE PAID
 Los Angeles, CA
 Permit #21877



目次

P 1 : キリストの日をキラワレタ人と	朴エド師
P 2 : クリスマス随想	内越泰子師
P 3 : イエス様の愛と繋がって	佐々木聡子姉
P 4 : 宣教の旅に出ていこう	カイル・コシミズ兄
P 5 : 2020年マウント・ハーモン修養会お知らせ	
近況報告	藤本三奈子
編集後記	西原黎子